

宮崎県土地家屋調査士会会則の一部改正に伴う職印の取扱い事例

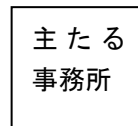
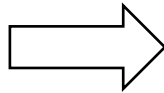
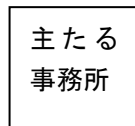


は、職印を示す。

事 例 1

○主たる事務所

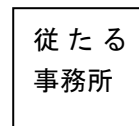
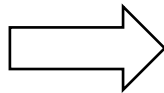
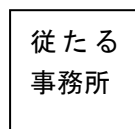
主たる事務所に代表すべき者 A が常駐



従前の職印を A の職印とする（届出不要）

○ 従たる事務所

従たる事務所に代表すべき者 B が常駐

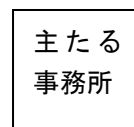
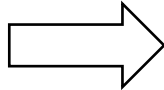
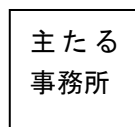


従前の職印を B の職印とする（届出不要）

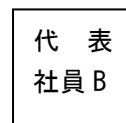
事 例 2

○ 主たる事務所

主たる事務所に代表すべき者 A 及び B が常駐



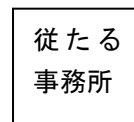
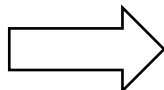
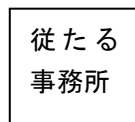
従前の職印を A の職印として届出ることにより
A の職印とする



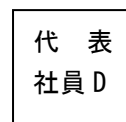
代表社員 B は速やかに職印を作成し届出る

○ 従たる事務所

従たる事務所に代表すべき者 C 及び D が常駐



従前の職印を C の職印として届出ることにより
C の職印とする



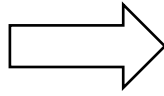
代表社員 D は速やかに職印を作成し届出る

事 例 3

○ 主たる事務所

主たる事務所に代表すべき者Aが常駐

主たる
事務所



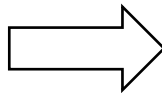
主たる
事務所

従前の職印をAの職印とする（届出不要）

従たる事務所

従たる事務所に代表すべき者がいない

従たる
事務所



従たる
事務所

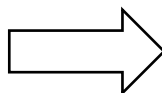
従たる事務所の職印は廃止する（届出不要）

事 例 4

○ 主たる事務所

主たる事務所に代表すべき者がいない

主たる
事務所



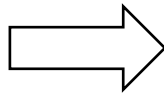
主たる
事務所

主たる事務所の職印は廃止する（届出不要）

従たる事務所

従たる事務所に代表すべき者Aが常駐

従たる
事務所



従たる
事務所

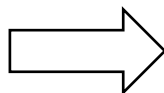
従前の職印をAの職印とする（届出不要）

事 例 5

○ 主たる事務所

代表すべき者の定めがない（各社員が代表すべき者となる）

主たる
事務所



主たる
事務所

従前の職印を一人の職印として届出ることにより当該社員の職印とする

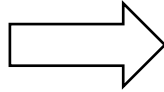
社 員

他の社員は速やかに職印を作成し届出る

○ 従たる事務所

代表すべき者の定めがない（各社員が代表すべき者となる）

従たる
事務所



従たる
事務所

従前の職印を一人の職印として届出ることにより当該社員の職印とする

社 員

他の社員は速やかに職印を作成し届出る

業務の混乱を避けるために、土地家屋調査士会の定時総会後に、印鑑届等を提出することは差し支えありませんが、届け出る職印が使用できる日は、土地家屋調査士会会則改正の施行の日となりますのでご留意願います。

また、土地家屋調査士会におかれましては、土地家屋調査士会会則改正の施行日以前に提出される印鑑届については、同様式中に「上記のとおりお届けいたします。」と記載がありますが、別途「宮崎県土地家屋調査士会会則改正の施行日（令和２年５月２５日）から使用する印鑑を上記のとおりお届けいたします。」の一文を付記するなどの対応をお願いします。